

# 「大自然のひろば」創世記

## 第2回 「みのり保育園」のあゆみ



★ 前回に述べたように、みのり保育園は昭和 34 (1959) 年 7 月 22 日に池袋本町 3 丁目の氷川神社境内で開いた「青空保育所」が前身で、町内会のテントを借りた活動が 2 年間続きました。

そして昭和 3 6 (1961) 年、現在の園舎の隣にバラックを建ててキリスト教保育の拠点として誕生したのが「みのり保育園」です。

その名は、キリストの聖句「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが地に落ちて死ねば一粒の麦は多くのみのりとなる。」(ヨハネによる福音書 12 章 24 節)に由来し、園のシンボルには豊かに実った聖樹の葡萄がデザインされています。

当時の世相は、急激な人口増と少子高齢化、核家族化による都市環境が悪化するなかで皇太子のご成婚やオリンピックの東京誘致の成功に人々が浮かれる一方、街中を走り回っていた子供達の環境は次第に狭められてゆきました。そして、共稼ぎ家庭が頼れる保育園の役割も大きくなってきました。

園舎建設の資金集めには多くの困難がありましたが、保護者をはじめ地元商店街からの寄金や住民の協力によりリヤカーで古新聞や空き缶を回収したり神社の祭礼に店を出すなど 8 年間の汗と善意が実って園舎が落成し、昭和 45 年 (1970 年) 4 月 1 日、ついに「社会福祉法人みのり保育園」が児童福祉施設として認可されたのです。

そして、小さな園舎での活動を 27 年も続けて 5 5 0 名の卒園生を送り出すほどになった平成 9 年 (1997 年) には 0 歳児保育も受け入れて大規模な改築を行い、さらに平成 2 5 年 4 月には耐震構造を備えた園舎を新築して歩んでいます。



★ ここで、みのり保育園の概要を紹介してみます。

### ◆みのり保育園の基本理念

『自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい』

(聖書マタイ伝による福音書 19 章 19 節)

### ◆ 保育目標

『21世紀を担う子どもたちを地域と家庭と園で育む』

### ◆ 園児定員 (平成 2 9 年度)

0 歳児 6 名・ 1 歳児 1 1 名・ 2 歳児 1 1 名

3 歳児 1 1 名 4・5 歳児 2 1 名

### ◆ 職員配置 ( 2 4 名)

園長: 1 副園長: 1 保育士: 1 1 看護師: 1

栄養士: 1 事務員: 1 用務員: 2

★「みのり保育園」おもなあゆみ

- 昭和35年(1960)4月 氷川神社境内にテントを張り「青空保育」を開始  
昭和36年(1961) 名称を「みのり保育園」と命名し、バラックにおいて保育開始  
昭和45年(1970)5月 園舎落成 児童福祉施設認可「みのり保育園」開園  
昭和53年(1978)5月 幼児組自由保育開始  
平成12年(2000)4月 開園40周年式典  
平成14年(2002)4月 帰山祐子園長退任 齋藤玲子園長就任  
平成15年(2003)11月 帰山祐子前園長 紫綬褒章受章  
平成19年(2006)3月 園舎大規模改修完成  
4月 0歳児保育 集団給食開始(定員3名)  
平成22年(2010)4月 齋藤玲子園長退任 青木絵美園長就任  
平成24年(2012)5月 仮園舎へ移転  
平成24年(2012)8月 新園舎建設工事鍬入れ式  
平成25年(2013)4月 新園舎竣工式  
平成25年(2013)5月 新園舎へ引っ越し  
平成26年(2014)4月 青木絵美園長退任 齋藤玲子園長就任

◆【参考】社会福祉法人「みのり愛の会」のあゆみ

- 昭和43年(1968)1月 法人設立「社会福祉法人みのり保育園」  
昭和44年(1969)12月 社会福祉法人認可(厚生収児736号)  
昭和58年(1983)4月 自然体験教育施設「大自然のひろば」事業発足  
昭和63年(1988)4月 「大自然のひろば」ログハウスオープン  
平成7年(1995)8月 「大自然のひろば」付帯的公益事業認可(厚生収児213号定款)  
平成17年(2005)5月 帰山祐子理事長退任 清水孝郎理事長就任  
平成21年(2009)2月 豊島区池袋本町保育園運営事業(20豊子保発第470号)選定受理  
7月 社会福祉法人「みのり愛の会」に法人名変更  
平成25年(2013)5月 清水孝郎理事長退任 田村 仁理事長就任  
9月 定款変更認可(27豊保総発第665号)東京都から豊島区指導となる  
平成27年(2015)10月 「大自然のひろば」をNPO法人 大自然のひろば に譲渡

皆で力を合わせて丸太を組み、仕上げは土地の専門家に依頼して完成二 9 園生や父兄の方々の力強いご協力がありました。勇気のある帰山先生は深い山の暗闇のこの地に、ご自分の自家用車を持ち入れ、その中でひとり泊って構想を練られた日もありましたね。

そして遂に社会福祉法人みのり保育園の公的な活動を実現されたのでした。当時はまだ交通の便がなくて麓まで貸切りバスを利用したり、高崎から下仁田を廻ったりしました。いまのように長野新幹線の計画さえ、まだ聞かれなかったのですが、急に夢のような路線の発表が本当の事となった今は、短時間で現地近くまで行くことが出来るようになりました。まさに先見の明のあった帰山先生。でもご本入は自分の予測にはなかったのよと、ただただみんな嬉しく喜び合いました。先生は後日豊島区に表彰されたり、款勲の≡トレ、\*≪ま r y 人に語ったりはなさいません。

うに走り廻った子供達は時代の波とともに少子高齢化 -  
(すうせい) にさらされるようになりました。けれども、

保育園が誕生した時の変わらぬ心は、今もしっかりとつらぬかれて現在のお子様方を、あたたかく、まもり育ててくがさる事については抜群です。

種播きを最初にしてくださった帰山先生、これからの成長の担い手齋藤玲子園長、先生方、ありがとうございます！

四十五年の歴史の中にはずいぶん蔭の力になって去くしてくださった尊いご父兄の力を憶えています。

時の流れに沿いつつ、新しい形はどのように動くとも、変わらぬひとすじの光を求めて、「みのり保育園」から育つ子供さんが、より良い成長をなされますように、と祈ってやみません。

みのり保育園は、1959年（昭和34年）7月22日に池袋本町3丁目の氷川神社境内で始められた「青空保育」が前身です。

テントで2年間保育を行い、その後バラックを建て「みのり保育園」として発足致しました。1970年（昭和45年）4月1日に現園舎が落成され、「社会福祉法人みのり保育園」が児童福祉施設として認可されました。その後1997年（平成9年）に園舎を大規模修繕し現在に至ります。1978年（昭和53年）5月より園児組の自由保育を始め、1997年（平成9年）より0歳児保育も開始しました。40年以上の保育経験で自信を持って大切なお子様をお預かりしています。

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」

それはヨハネによる福音書の 12 章 24 節からの聖句です。

12:24 本当にはっきりとあなた方に告げる。一粒の小麦は地に落ちて死ななければ、それはそのまま残る。しかしそれが死ぬなら、たくさんの実を生み出す

イエスさまは十字架の死を「一粒の麦」に譬えてその意味を説き明かされました。